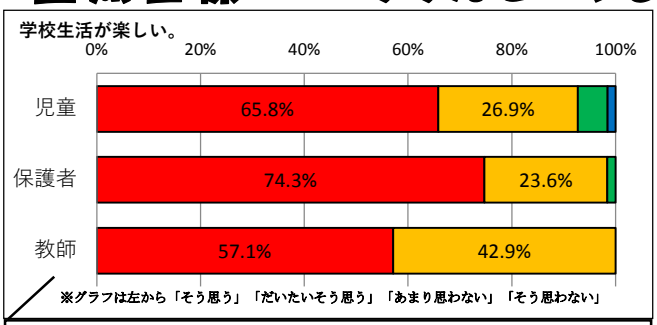
富士市立神戸小学校

学校便り 神戸っ子

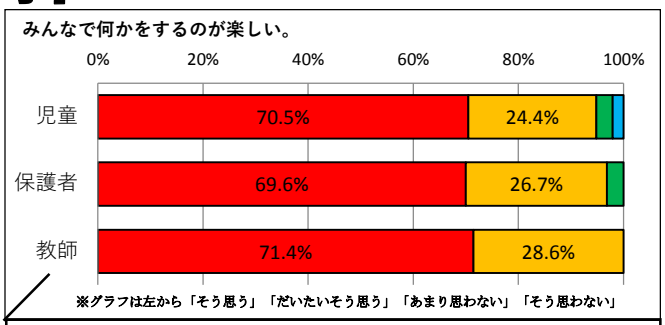
令和元年９月25日

9月号その2 前期学校評価報告

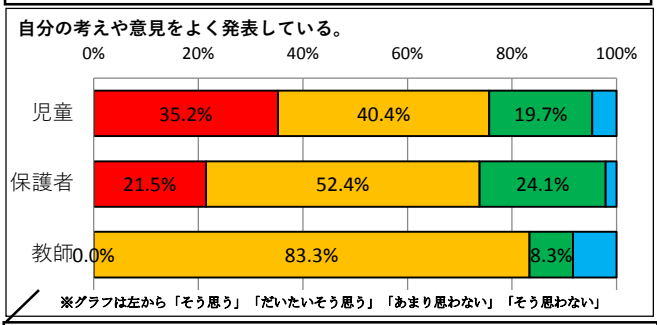
学校教育目標　「つながろう　やりぬこう」
重点目標　「すすんで　やる子」



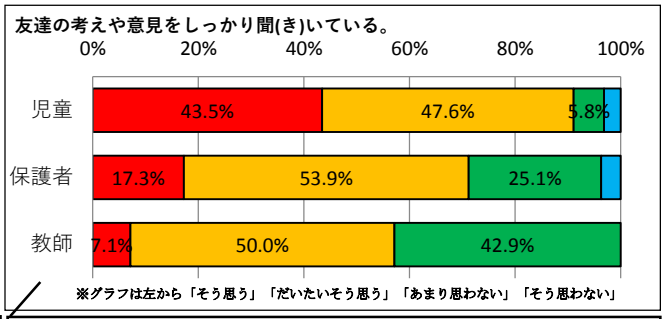
登校後の朝の活動時間から、それぞれの学年に応じた自主的な活動を行うなど、子どもたちは充実した学校生活を送っていることが感じられます。全ての子が少しでも学校生活を楽しいと感じられるように、一人一人の寄り添った支援を心がけていきたいと思います。



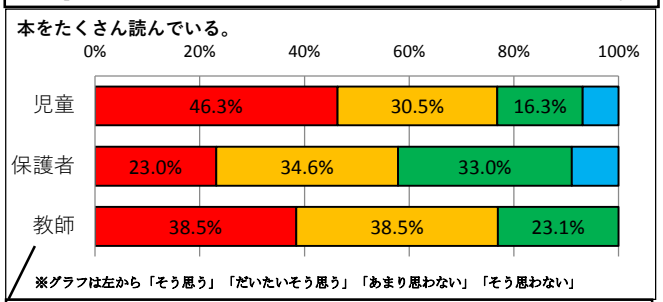
クラス、学年を越えたつながりを深められることが本校の強みです。それを生かし「つながろう　やりぬこう」を目標に向けて、一人一人が何ができるか、何をすべきか考え、行動させていくことの先に、充実感と満足感を味わえるものだと思います。



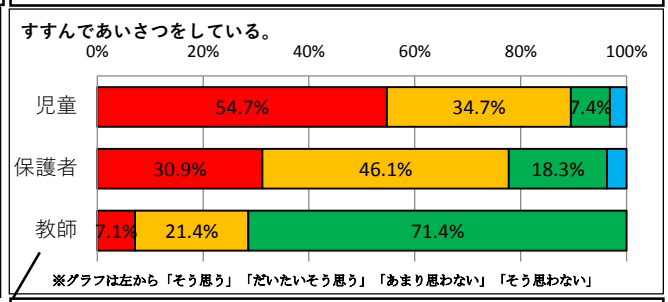
考えを頭の中で整理し、人前で話すことには抵抗がありますが、ペアや小グループで自分が思っていることを伝えることは少しずつできるようになってきました。引き続き子どもたちが「言いたい！」と思えるような課題設定も工夫していきたいと思います。



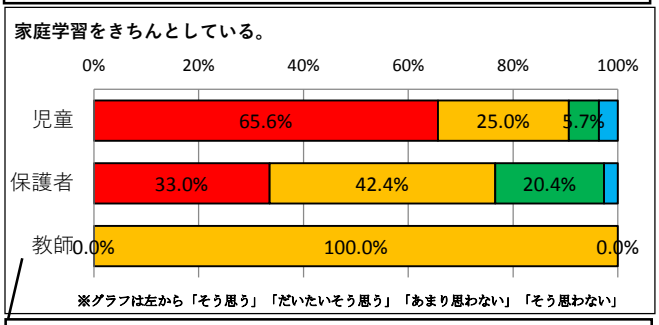
話し手を見ながら「聞く」姿勢は身に付き、話の内容にうなずいたり、つぶやいたりするなど、反応しながら「聞く」ことができるようになりました。話し手の思いやその背景まで理解しようとして「聴く」ことができることを目指しています。



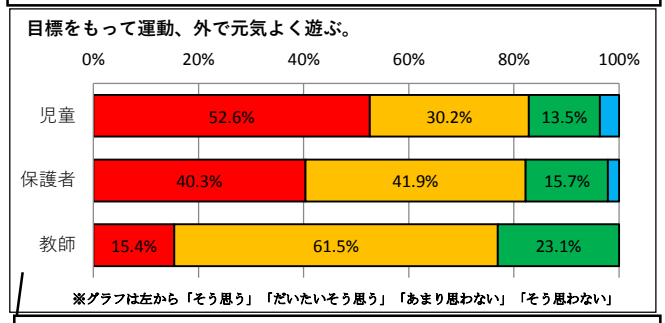
今年度から、1，2年生だけの「読み聞かせタイム」を設定しました。その効果なのか、低学年の読書への意識が高くなりました。高学年も隙間時間を見つけて本を読んでいます。秋の読書旬間でも引き続き読書を推奨していきたいと思います。



学年が上がるごとにあいさつの声が聞こえなくなる傾向があります。成長過程としてやむを得ない部分もありますが、地域、保護者は子どもたちの元気なあいさつを期待しています。まずは、校内で教職員が積極的に子どもたちへあいさつの声掛けをしていきたいと思います。

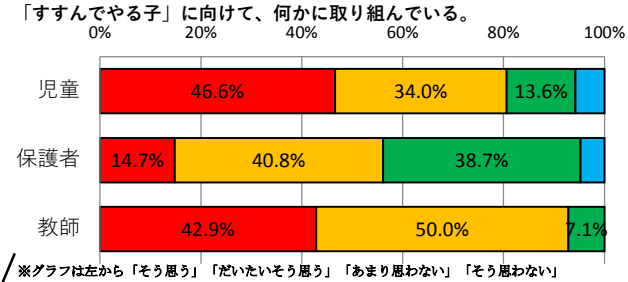


昨年度も家庭学習とは、”提出の義務はない自主的な学習“として定義させていただきました。吉原北中学区4校研修会においても、自主学習ノートの重要性が話題となっています。子どもたちが必要感を感じて取り組めるような指導を考えていきたいと思います。



今年度は、梅雨明けが遅かったこと、運動会が秋になったことから、子どもたちが外で元気よく運動する姿が少なかったように感じられます。10月の神戸大運動会、11月の持久走大会に向けて、子どもたちが運動意欲を高められるよう支援していきます。

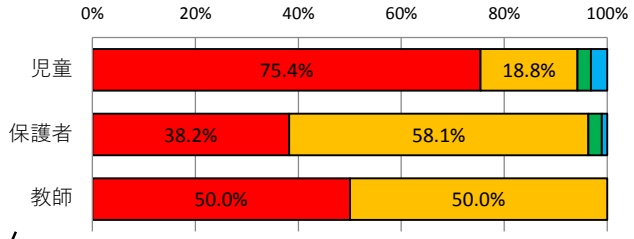
「すすんでやる子」に向けて、何かに取り組んでいる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

学習にしても運動にしても、子どもたちが動き始めるために種をまくことが必要であり、よい行動を価値づけることも大切だと思います。低学年では教えることが基本となりますが、一つ一つが子どもの経験となり、学年が上がるごとにすすんで何かに挑戦していく姿となっていくことを期待します。

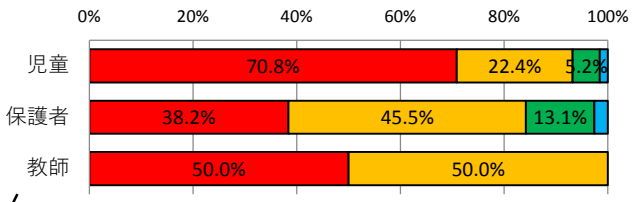
先生は、よく話を聞いてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

小学生の子どもはまだまだ未熟であり、失敗をしたり間違ったりすることは当然のことだと思います。その子の言動の背景を思い描きながら、寄り添い理解していくことに努めることで、子どもとの信頼関係をより深めていきたいと思います。

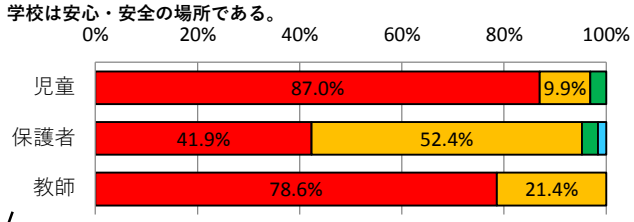
先生は、自分ががんばったことをよくほめてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

学年によって差はありましたが、子どもたちは頑張ったことをほめてもらうことにある程度の満足感を得ているようです。ほめられることで子どもたちは、さらに「すすんでやる子」に近づいていくものだと思います。機会を捉え効果的にほめる指導を心掛けていきます。

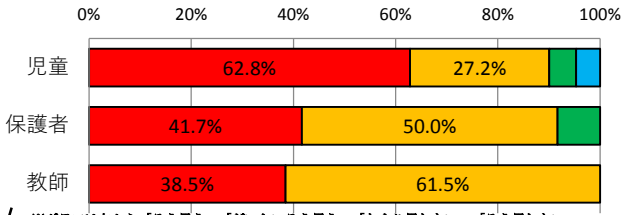
学校は安心・安全の場所である。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

不審者、交通事故、大雨警報、熱中症への警戒など、常に最新の情報に基づく判断を下し、子どもたちの安心・安全を守るための対応に心掛けてきました。過保護と思われるような場合もあったかもしれませんが、何か起きてからでは遅いため、結果として何も起きなくてよかったと受け止めていただけたら幸いです。

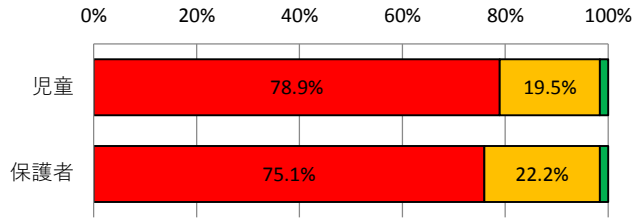
授業は楽しくわかりやすい。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

「授業が楽しい＝学校が楽しい」という意識が高学年までつながっていけるように授業改善に取り組みたいと思います。基礎の定着に関しては個人差があるため、理解が早い子を待たせて退屈にさせないように発展的な課題を与える、苦手な子に教えるなどの活動により、どの子も満足できるような学習時間にしたいと思います。

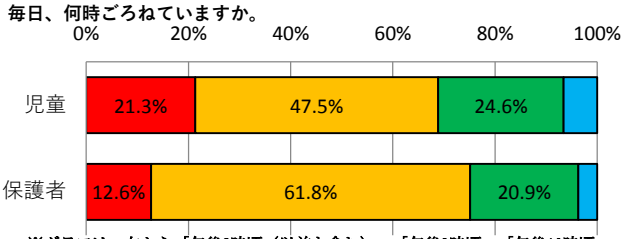
学校のきまりをきちんとまもっていますか。



※グラフは、左から「はい」「守らないこともある」「いいえ」

本校は、子どもたちの規範意識は高いと言えます。それは、家庭や地域全体で子どもを見守り、育てていこうとする環境にあるからだと思います。学校のきまりだけでなく、世の中のきまり、ネット社会におけるきまり（モラル）も遵守していくことができるように、これからも学校・家庭・地域が一体となって素直で健やかな子どもたちを育てていきたいと思います。

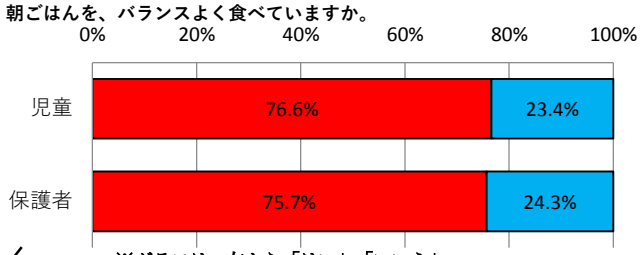
毎日、何時ごろねていますか。



※グラフは、左から「午後8時頃（以前も含む）」「午後9時頃」「午後10時頃」「午後11頃」

塾や習い事があると、その曜日はどうしても就寝時刻が遅くなってしまうこともあるかもしれません。特に、休み明けの月曜日に眠そうな顔をしているお子さんが目立ちます。翌日に疲れを残さないような生活習慣を身につけてほしいと思います。

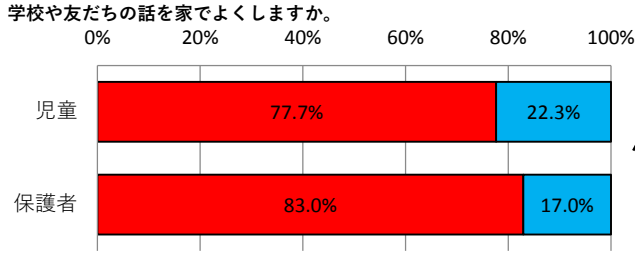
朝ごはんを、バランスよく食べていますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

どのご家庭も朝の時間は短く感じられ、余裕をもって朝食を食べる子は少ないかもしれません。しかし、一日のエネルギーを補う大切な朝食です。毎朝バランスよく摂取し、快便とともに習慣化され、健康的な生活となるようにご家庭での働き掛けもお願いします。

学校や友だちの話を家でよくしますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

携帯型のゲームやスマホなどの娯楽用機器が普及し、家庭内での会話が減ってきたと言われている昨今において、本校でも約2割のご家庭で、学校の話題が親子の会話にならない実態を感じました。今後もますますこの傾向が広がっていくのではないかと心配をしています。物の便利さ豊かさの中だからこそ、家族のコミュニケーションは大切なものですし、それが社会のコミュニケーションにもつながると思います。子どもから話題が出ない場合は、大人から話しかけていただけると幸いです。

➢ 子どもたちがよりよく伸びていくための意見・提案（保護者より）

①学習・運動に関する内容

- ✎ クラスで一人だけ100点をとった時に、全員の前でほめてもらえたことがあり、子どものやる気と達成感につながると思ったので、続けてほしい。
- ✎ 書取の直し（ペン入れ）をしてほしい。
- ✎ 教科担任制や習熟度別の授業の導入。
- ✎ GODOノートを子どもが意欲的に取り組めるような環境が整っているのがよいと思う。
- ✎ 学校の授業を通して、地域の方々とのふれあいの機会が増えたこともよいと思う。これをきっかけに子どもが自分から地域の歴史や伝統に興味をもつことにつながってほしいと願う。
- ✎ ノー宿題デーには、近所から子どもの遊ぶ声が聞こえてきて、とてもよい取組みだと思う。

- ✍ 子どもの達成感、満足感につながるような称揚の仕方については、今後も継続、工夫していきたいと思います。また、書取やノートへのペン入れについては、毎日全ての教科で行うことは時間的に難しいため、その機を捉え、それが効果的な指導となるように行っていきたいと思います。
- ✍ 教科担任制や習熟度授業の効果は、十分理解しておりますが、それを行うには本校の教員の数が不足しているため、今は実施することができません。今後、国や県の施策によって導入された際には、その成果を検証し報告していきたいと思います。
- ✍ GoDoノートや地域との連携は、本校ならではの強みだと思っています。自らすすんで地域や社会に働きかける子どもたち育成のため、GoDoノートの取組みや地域との連携は今後も継続していきたいと思います。
- ✍ ノー宿題デーの効果が、思わぬところにも表れていたので安心しました。週にわずか1度ですが、その取り組みによって生まれた「ゆとり」の時間が、子どもたちのさまざまな体験活動に行かされることが何よりの学びだと思っています。

②生活指導に関する内容

- ✎ 放課後や休日等、保護者や地域の方にしっかりとあいさつができないときがある。（気になったときに伝えるようにしている。）
- ✎ 朝の登校班はいろいろな面で助かっているが、子どもたち同士であいさつする姿がほとんど見られない。暗い雰囲気が漂っている。気持ちのよいあいさつができるようになってほしい。
- ✎ 放課後や休日に、他の保護者や地域の方にしっかりとあいさつできるとよい。
- ✎ 最近の子どもの傾向として自分さえよければいいということが多くある。周りを見て考えて行動できるように、家庭や学校で子どもたちに伝えていかなければいけないと思う。
- ✎ 周りに流されてよくない方向に行っても気づけない、気づかないふりをしている姿が見られる。その都度大人だけでなく子どもたちがお互いに声をかけあえる環境づくりは大切だと思う。
- ✎ いけないことをしたらきちんと叱り、説明して自分のどこがいけなかったか見つめ直していくよう対応できたらよい。説明だけでわかったふりをする要領がよい子が多くなっている気がする。
- ✎ トラブルがあったときに、子どもからの説明では不明な点が多いため、被害者、加害者ともに連絡（連絡帳、本読みカードでもよい）してほしい。

- ✍ あいさつに関してのご意見をたくさんいただき、子どもたちの大きな課題であることを痛感いたしました。学校でも運営委員会主催によるあいさつ運動を継続するなど、あいさつの大切さについて理解しているところではありますが、なかなか実践できないのが現状です。また、登校時にあいさつの声が小さいことは、教職員からも気になることとして挙がっています。効果的な取組方法をよく検討し、今後の対策に取り組んでいきたいと思います。
- ✍ 善悪の判断、自主自律、思慮反省など、以前から道徳の授業で扱ってきた道徳的な価値について、その実践力が求められるようになりました。ご存知のように今年度から道徳教育が特別な教科として授業に位置づけられ、考え議論させる道徳授業により、判断力実践力を養っていこうとしています。もちろん授業だけでそれを養うこと困難であるため、学校生活の様々な場面で問題を自分事として考えさせ、よりよい学校生活につなげていく指導を継続しています。

  さらに、家庭とも連携して指導していけるように、トラブルがあった際にはその日のうちに連絡を入れるように努めてきました。

  いずれにしてもまだまだ十分ではないと感じております。今後も学校としてすべきことを粛々と継続していきたいと思います。

③教育課程（学校行事・特別活動など）に関する内容

- ✎ 4～6年生が交通安全を語る会で積極的に意見を出し合っていてよかった。小さい学校ならではのことだから続けてほしい。
- ✎ 今のところ、2日間も休校になっているので、夏休みに自主勉強会などを開いてもらえたらありがたい。
- ✎ 親が学校での子どもの様子を知り、家庭での教育に役立てられるように授業参観機会の拡大。（いつでも見られる。授業参観ウィークなど）
- ✎ 運動場でも自由に遊べるようになったらよいと思う。
- ✎ ペアの６年生がとても面倒をよく見てくれるようである。
- ✎ 自らすすんで学校の草むしりをみんなでしていたのは感心した。

- ✎ 交通安全を語る会の意義についてご意見をいただくことができ幸いです。このための準備や練習にかける時間を考えると、縮小したい行事だと考えていた時期もありましたが、子どもたちの真剣な話合いの姿からその必要性をご示唆いただけたと思います。今年度の成果として、次年度以降につなげていきたいと思います。
- ✎ 既に2日間も休校措置をすることになり、ご心配をおかけしていますが、本校ではモジュールタイムを計画的に取り入れ、年間授業時数はまだ十分確保できています。しかし、今後インフルエンザ流行による学級閉鎖等で授業が打ち切られた場合は、何らかの補填が必要となる場合もあります。その際には、文書にてご連絡させていただきます。
- ✎ 授業参観機会の拡大については、大変貴重なご意見として受け止め、来年度の教育課程編成での検討事項にしたいと思います。ただし、学校としてはご要望があれば、いつでも保護者の方に授業を公開してもよい構えでおります。
- ✎ 休日や放課後の運動場使用については、施設利用団体が使わない日時であれば、自由に遊べます。ただし、学校職員が不在の場合、突発的な事故等には対応できないことをご了承願います。

④その他の内容

- ✎ クラス替えがあって最初は学校へ行くのを嫌がっていたようだが、担任の先生と気が合い楽しそうに学校へ行くようになって安心している。
- ✎ 3年生になってから急に授業が難しくなり教科も増えたが、自分で考えすすんで学習を行っている。今の担任の先生の進め方が合っている。
- ✎ 先生によくみていただいて感謝している。
- ✎ 家庭でも学校でのことを楽しそうに話してくれるので安心している。
- ✎ １年生の頃と比べて、授業で教えてもらったことの内容が聞けなくなって不安にもなる。大変なときこそ明るく楽しく学ぶ環境作りを期待する。
- ✎ 単学級のためか競争心が少ないと思うが、担任でなくても先生方が子ども一人一人を気に掛けてくださり感謝している。
- ✎ 先生方は、一人一人をよく見てくれていると思う。
- ✎ 今年の担任の指導方法は素晴らしいと思う。ただ、先生によって子どもたちへの対応の仕方や指導方法に差があるように感じる。
- ✎ 担任の先生が子どものよいところをたくさん教えてくださるので、親としての自信もついて心のゆとりがもてるようになった。そのゆとりから、何かにチャレンジさせたり、ゆっくりな子どもの時間に合わせてあげられるようにもなった。
- ✎ 先生が明るく笑顔で子どもに接してほしい。
- ✎ たくさんの子どもを相手するのは大変だと思うが、子どもの声に耳を傾けていただけると共に成長できると思う。
- ✎ 子どもたちの身長と机の高さが合っていないので、時々調整するなり交換するなりした方が姿勢もよくなると思う。

- ✎ 教員の人柄、子どもへの関わり方、指導力によって、子どもたちの学校生活がより充実することが感じられます。経験年数、性別、性格など、教員にも個性があって一律に同じ指導は難しいですが、どの教員も子どもの健やかな成長を願っていることは間違いありません。今後も保護者の皆様からの温かい支援を受けながら、一人一人に寄り添った指導ができるよう努めていきたいと思います。
- ✎ 机と椅子の高さ調整については、意識的に行っていきたいと思います。ただし、全て木製であるため、完璧な調整ができないことはご了承願います。

前期学校アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は特に、保護者の皆様からたくさんの建設的なご意見をいただき、大変参考になりました。また、私たち教職員への励ましのお言葉もいただきました。皆様の思いをしっかり心に刻み、今後の教育活動をさらに充実させていきたいと思います。

なお、12月にも同様のアンケート調査を行います。今回のアンケートと同様に、マークシート部分の回答（色塗り）を鮮明にしていただき、機械が「無回答」として読み取るものがゼロとなるようご協力願います。